

外食・中食 調査レポート

震災後の外食・中食市場 ～客足は順調に回復～

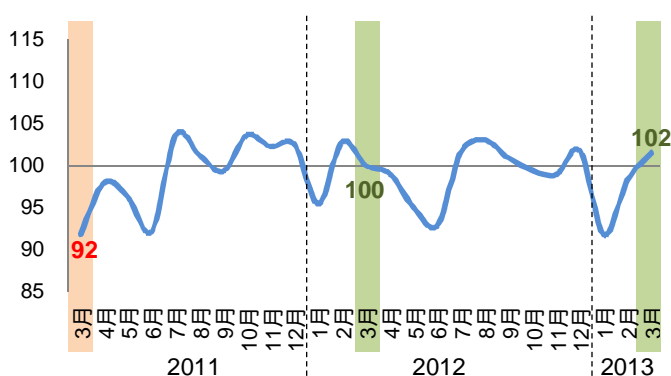


【東京、2013年6月17日】2011年3月に発生した東日本大震災（以下、震災）。社会生活にも大きな影響を与えた震災から2年が経過したが、その後の外食・中食市場はどのように変化しているのか。エヌピーディー・ジャパン(株)が提供する外食・中食市場情報サービス『CREST* <http://www.npdjapan.com/service/food.html>』から探してみる。

■ 震災発生時から、客足は順調に回復

図表1は、過去2年間の外食・中食市場全体の食機会数の増減である。2010年3月期の食機会数を100とした場合、震災発生時の2011年3月期には92(指数)と大きくマイナスであった。しかしながら、今年3月期には102と、客足は順調に回復してきていることが分かる。

【図表1】
外食・中食市場 食機会数増減
(2010年3月 = 100 とする)



エヌピーディー・ジャパン(株) CREST より

■ 客足が好調な朝食、昼食、夕食市場

では、いずれの時間帯においても回復傾向にあるのか。図表2は、2010年3月期を100とした場合の各時間帯における、食機会数の増減である。震災発生時は、全ての時間帯で前年同月を下回ったものの、1年後の2012年3月期には「朝食」(指数102)および「昼食」(同102)、「夕食」(同102)で、震災前の水準を取り戻した。そして今年3月期では、引き続き「朝食」「昼食」「夕食」での客足は好調であった。一方、「間食」というと、震災発生時の2011年3月期(同88)より高くはなったが(同93)、依然として2010年3月期を下回っていることが分かる。

【図表2】

外食・中食市場 時間帯別 食機会数の増減
(2010年3月 = 100 とする)

	2010年 3月	2011年 3月	2012年 3月	2013年 3月
朝食	100	96	102	108
昼食	100	94	102	104
間食	100	88	93	93
夕食	100	90	102	103
深夜	100	88	96	100

朝食(6-10 時台)、昼食(11-13 時台)、間食(14-17 時台)、夕食(18-21 時台)、深夜(22-翌5 時台)

エヌピーディー・ジャパン(株) CREST より

■ 平均客単価が好調な間食、夕食市場

一方、平均客単価には変化が起きているのだろうか。図表3は図表2同様、2010年3月期を100とした場合の各時間帯における、平均客単価の増減である。これをみると、客足の下降で不調基調であった「間食」において、平均客単価が伸長していることが分かる(指数108)。また、「夕食」も震災前の水準に戻っており(同101)、食機会数、平均客単価ともに順調で、もっとも回復が進んでいる時間帯であると推測できる。

【図表 3】

外食・中食市場 時間帯別 平均客単価の増減
(2010年3月 = 100 とする)

	2010年 3月	2011年 3月	2012年 3月	2013年 3月
朝食	100	90	99	96
昼食	100	95	97	99
間食	100	97	99	108
夕食	100	88	100	101
深夜	100	83	88	79

朝食(6-10 時台)、昼食(11-13 時台)、間食(14-17 時台)、
夕食(18-21 時台)、深夜(22-翌 5 時台)

震災から 2 年が経過し、客足の回復傾向が続いていることは前述した通りである。一方で、平均客単価は、まだ震災前の水準に達していない時間帯もある。現在、各チェーンも様々な客単価向上の策を凝らしており、日本の経済状況が上向き始めた今、外食・中食市場全体の回復を宣言するまで、そう時間がかからないかもしれない。

*CREST とは

外食・中食市場において「いつ、誰が、どこで、何を、どのように食べ、どの程度満足したか」などの消費者動向のさまざまな情報を、1 年 365 日、直接消費者から収集、約 20,000 人 / 月ものサンプル数を元に調査分析できる情報サービスです。(海外各国版もご用意)

詳細は <http://www.npdjapan.com/service/food.html>

お問合せ

エヌピーディー・ジャパン株式会社

セールス & マーケティング部 高橋・小野

Email : npdjapan.info@npd.com

〒108 - 0074

東京都港区高輪 3-23-17 品川センタービル 13F

TEL: 03-5798-7663 / FAX: 03-5798-7665